

アジフライの聖地を盛り上げるアイテムが市役所の窓口

問文化観光課 ふるさと納税魅力発信室 ☎内線 216



「アジフライの聖地 松浦」の情報は
こちらから

聖地宣言から5年、まちの皆さまとともに盛り上げてきた「アジフライの聖地」。

今回、株式会社 稲沢鐵工さんのご厚意で、アジフライの形をした鉄製の文鎮をご提供いただきました。

この文鎮は、同社が製作されているアジフライキーリングのデザインを元に製作された特注品で、市役所各階の窓口などで使用しています。来庁の際はぜひご覧ください。

わたしたちの郷土

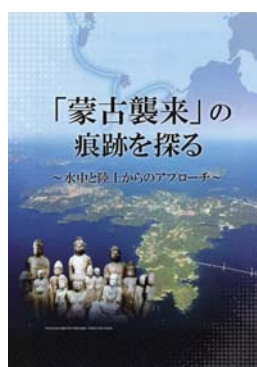
～文化財は地域の宝～

「我がまちの元寇再発見事業」シンポジウムが開催されました

県では、今年が文永の役（1274年）から750年となることから、元寇に関する新たな文化財の調査や関係市等と連携した文化財の魅力発信、元寇関連のコンテンツを活かした観光等による地域活性化を目的とし、令和5年度から「我がまちの元寇再発見事業」に取り組まれています。

1月27日には長崎歴史文化博物館においてシンポジウム「蒙古襲来の痕跡を探る～水中と陸上からのアプローチ～」が開催され、本市からも鷹島海底遺跡発掘調査の成果報告や鷹島海底遺跡関連遺物の展示などを行いました。シンポジウムでは、史学・考古学・美術工芸の観点から意見交換が行われ、本市の活用事例として、元寇をテーマにした観光コンテンツの造成事業やVRを活用して見えない遺跡をどうやって見せるかなどの取り組みを紹介しました。

県ではこの事業に伴うパンフレットを作成されており県のホームページで公開されています。また、市役所文化財課の窓口、松浦市立埋蔵文化財センターにも冊子を設置していますのでぜひご覧ください。



▲シンポジウム会場の様子



◀パンフレット
QRコード

●地域の宝を守るため、工事の前に確認を！

遺跡内での土木工事などは事前に届出が必要です。

問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356



遺跡の場所などの詳細は
市ホームページまたは問
合せ先まで